

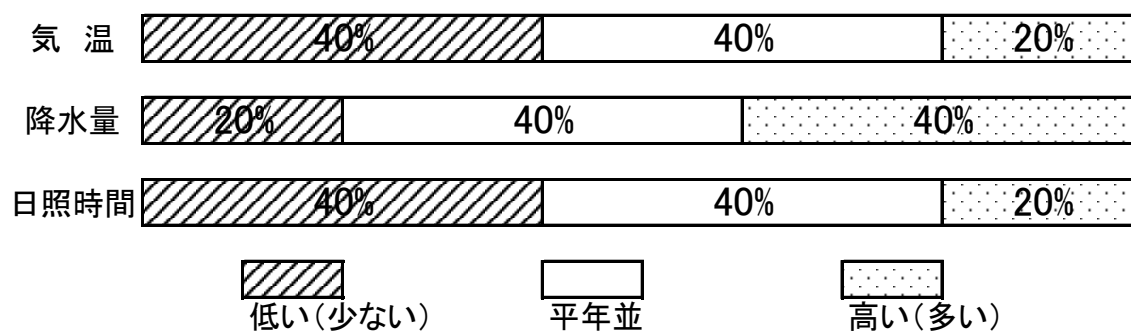
# 平成28年度 病害虫発生予察情報

## 発生予報第5号（7月下旬～8月上旬）

平成28年 7月15日  
島 根 県

予報の概要					
区分	農作物名	病害虫名	予想発生量		
普通作物	イネ	葉いもち	やや多い		
		穂いもち	やや多い		
		紋枯病	平年並～やや多い		
		白葉枯病	やや少ない～平年並		
		縞葉枯病	平年並		
		ヒメトビウンカ	多い		
		ニカメイチュウ	やや多い		
		ツマグロヨコバイ	やや多い		
		セジロウンカ	やや多い		
		トビイロウンカ	平年並		
		コブノメイガ	やや多い		
		斑点米カメムシ類	平年並～やや多い		
		果樹	ナシ	黒斑病	やや多い～多い
				黒星病	平年並～やや多い
シンクイムシ類	平年並				
ハダニ類	平年並				
アブラムシ類	平年並				
カキ	うどんこ病			平年並～やや多い	
	チャノイロアザミウマ			やや少ない	
果樹全般	カメムシ類			やや少ない	

中国地方1か月予報(7月16日～8月15日・広島地方气象台7月14日発表)  
 <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



### A. 普通作物

#### 1) イネ

##### (1) 葉いもち

予報内容

発生地方

発生量

予報の根拠

県内全域

やや多い

- ① 7月中旬の巡回調査(70ほ場)では、一部地域の発生が多く、発生ほ場率は18.6% (平年11.0%)、発病株率は8.9% (平年3.3%)であった。
- ② 県内で「コシヒカリ」などで発病程度の高いほ場がある。
- ③ 向こう1か月の気象は、本病の発生に助長的である。

- (2) 穂いもち  
 予報内容  
 発生地方 県内全域  
 発生量 やや多い  
 予報の根拠  
 ①伝染源となる葉いもちの発生量はやや多いと予想される。  
 ②向こう1か月の気象は、本病の発生に助長的である。
- (3) 紋枯病  
 予報内容  
 発生地方 県内全域  
 発生量 平年並～やや多い  
 予報の根拠  
 ①7月中旬の巡回調査(70ほ場)では、発生ほ場率は11.4%(平年17.5%)、発病株率が1.9%(平年2.2%)とほぼ平年並みである。  
 ②向こう1か月の気象は、本病の発生に助長的である。
- (4) 白葉枯病  
 予報内容  
 発生地方 県内常習発生地帯  
 発生量 やや少ない～平年並  
 予報の根拠  
 ①7月中旬の巡回調査(70ほ場)で発生は確認されていない。  
 ②近年、発生が少ない。  
 ③向こう1か月の気象は、本病の発生に助長的である。
- (5) 縞葉枯病  
 予報内容  
 発生地方 県内全域  
 発生量 平年並  
 予報の根拠  
 ①県内の一部で発生が認められる。  
 ②媒介虫であるヒメトビウンカの発生量が多いと予想されるが、保毒虫率は低い。
- (6) ヒメトビウンカ  
 予報内容  
 発生地方 県内全域  
 発生量 多い  
 予報の根拠  
 ①7月中旬の巡回調査では、捕獲数は6.4頭(平年2.9頭/50株)、発生ほ場率は57.5%(平年42.4%)で発生量は平年に比べ多い。  
 ②4月中旬の越冬世代成幼虫のイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率は0%と低い。  
 ③向こう一か月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。
- (7) ニカメイチュウ(第1世代)  
 予報内容  
 発生地方 県内全域  
 発生量 やや多い  
 予報の根拠  
 ①予察灯(出雲市)における誘殺数は113頭(平年28.9頭)で平年と比べやや多い。また、フェロモントラップ(出雲市)における誘殺数はやや多い。  
 ②7月中旬の巡回調査では、発生ほ場率は20.0%(平年3.3%)、被害株率は0.5%(平年0.3%)で発生量は平年に比べやや多い。  
 ③向こう一か月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。
- (8) ツマグロヨコバイ  
 予報内容  
 発生地方 県内全域  
 発生量 やや多い  
 予報の根拠  
 ①7月中旬の巡回調査では、捕獲数は10.8頭/50株(平年7.9頭)、発生ほ場率は57.5%(平年42.7%)で発生量は平年並みである。  
 ②予察灯(出雲市)における誘殺数は77頭(平年28.2頭)で平年と比べ多い。  
 ③向こう一か月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。
- (9) セジロウンカ  
 予報内容  
 発生地方 県内全域  
 発生量 やや多い  
 予報の根拠  
 ①初飛来は6月16日に益田市の予察灯で確認された。7月10日までに出雲市の予

察灯への誘殺は24頭（平成121頭）と平成並みである。

② 7月中旬の巡回調査では、捕獲数は58.8頭/50株（平成130.6頭）、発生ほ場率は97.5%（平成80.5%）で発生量は平成に比べやや多い。

③ 向こう一か月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(10) トビイロウンカ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平成並

予報の根拠

① 予察灯（出雲市）への飛来は認められない。

② 7月中旬の巡回調査では、捕獲数は0頭/50株（平成0.04頭）、発生ほ場率は0%（平成2.7%）で発生量は平成並みである。

③ 向こう一か月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(11) コブノメイガ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 やや多い

予報の根拠

① 予察灯（出雲市）、フェロモントラップ（出雲市）で飛来が認められない。

② 7月中旬の巡回調査では、発生ほ場率は17.5%（平成4.2%）、被害株率は0.7%（平成0.1%）で発生量は平成と比べ多い。

③ 向こう一か月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(12) 斑点米カメムシ類

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平成並～やや多い

予報の根拠

① 7月13～15日に出穂している極早生ほ場ですくい取り調査を行ったところ、斑点米カメムシ類合計で平均虫数は2.0頭/20回振り（平成6.3頭）と平成に比べて少なかったが、発生ほ場率は68.8%（平成74.3%）で平成並である。

② 6月下旬のほ場周辺雑草地でのすくい取り調査では、斑点米カメムシ類合計で10.8頭/20回振り（平成6.9頭）、発生ほ場率は67.6%（平成65.0%）で発生量は平成に比べやや多い。主要種はアカスジカスミカメである。

③ 向こう一か月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

B. 果樹

1) ナシ

(1) 黒斑病

予報内容

発生地方 ナシ（二十世紀）栽培地帯

発生量 やや多い～多い

予報の根拠

① 6月下旬の巡回調査では、発病葉率8.6%（平成6.3%）であり、発生量は平成に比べてやや多い。

② 向こう一か月の気象は本病の発生にやや助長的である。

(2) 黒星病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平成並～やや多い

予報の根拠

① 6月下旬の巡回調査では、発病葉率は1.7%（平成1.3%）であり、発生量は平成並みである。

② 向こう一か月の気象は本病の発生にやや助長的である。

(3) シンクイムシ類

予報内容

発生地方 県内全域

発生時期 平成並

発生量 平成並

予報の根拠

① フェロモントラップ（安来市、出雲市）でのナシヒメシンクイ雄成虫の誘殺時期は平成並み、誘殺数は平成並みである。

② 向こう一か月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(4) ハダニ類

予報内容

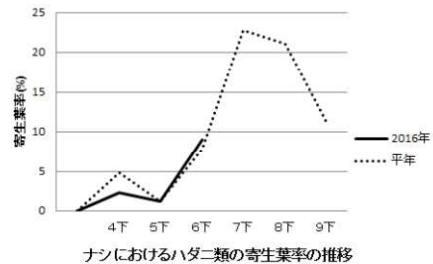
発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

① 6月下旬の発生量は寄生葉率9.0%（平年7.8%）、寄生虫数22.5頭/50葉（平年18.9頭）と平年並みである（グラフ参照）。

② 向こう一カ月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。



(5) アブラムシ類

予報内容

発生地方 県内全域

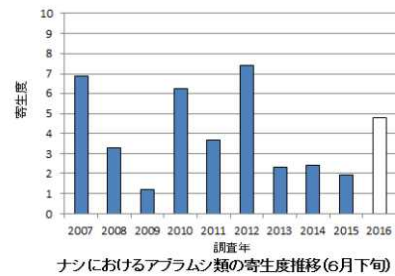
発生量 平年並

予報の根拠

① 6月下旬の寄生新梢率8.8%（平年9.3%）、寄生度4.8（平年4.0）と平年並みである（グラフ参照）。

② 黄色水盤への有翅虫飛来数は平年並みである。

③ 向こう一カ月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。



2) カキ

(1) うどんこ病

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

① 6月下旬の巡回調査で発生は確認されていない。

② 向こう一カ月の気象は本病の発生にやや助長的である。

(2) チャノキイロアザミウマ

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 やや少ない

予報の根拠

① 露地ほ場に設置した粘着トラップでの誘殺数は平年に比べてやや少ない。

② 向こう一カ月の気象は本虫の発生を特に助長する要因とはならない。

3) 果樹全般（カキ、ブドウ、ナシ等）

(1) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内果樹栽培地帯

発生量 やや少ない

予報の根拠

① 予察灯（出雲市）での7月3半旬までの誘殺数は38頭（平年559.4頭）で平年よりやや少ない

② 向こう一カ月の気象は本虫の発生を特に助長する要因とはならない。

③ カメムシ類の越冬量は少なく、ヒノキ花粉飛散量は平年に比べ少なく毬果も少ないと予想され、ほ場への飛来は平年並みになると予想される。

島根県病虫害防除所

TEL 0853-22-6772

FAX 0853-24-3342

ホームページ

<http://www.pref.shimane.lg.jp/nogyogijutsu/byougaityuu/>